

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	教育政策の社会的・経済的效果に関する評価
研究テーマ名	初等中等教育での教育投資や学力が若年期の学習意欲・就業・所得に与える影響の実証研究
研究代表者	赤林 英夫
所属機関・部局・職	慶應義塾大学・経済学部・教授
研究成果の総合評点：	A
研究成果に係る所見	<p>将来の人材形成のために初等・中等教育における学力・能力形成を調査するという研究テーマに対して、綿密な調査設計とデータ選択がなされている。評価時点ではパネル調査のデータ分析が終了しておらず、中間段階的な状況であり、研究成果が一部に留まったことは、当初計画に多くの目的を盛り込んだためと考えられる。教育クーポンの配布実験については、研究テーマに対して十分な成果があったと判断されるので、パネル調査の成果については、今後に期待したい。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとは言い難い
- C. 成果がなかった